

**憲法しんぶん 速報版**  
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)  
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2023年1月23日(月)  
NO. 1342号  
本号3頁

**「大軍拡、大増税やめろ」「政治変えよう」  
総がかり実行委など今年最初の「19日行動」**

岸田政権による違憲の安保関連3文書の閣議決定撤回や大軍拡・大増税へ突き進む政治を変えようと、総がかり行動実行委員会などは1月19日、衆院第2議員会館前で、今年最初となる「軍拡やめろ、軍事費増やす増税反対、改憲発議反対、辺野古新基地建設中止、統一協会癒着徹底追及、いのちと暮らしを守れ1・19国会議員会館前行動」を実施しました。週明けから始まる通常国会の前に、「よりいっそう市民と野党が力をあわせていこう」とアピールしました。この行動には、1000人が参加しました。



主催者を代表して、総がかり行動実行委共同代表の藤本泰成さんがあいさつ。ロシアによるウクライナ侵略や岸田政権の大軍拡路線を念頭に、戦争で平和が訪れることはない指摘。「私たちは、憲法9条の意義を忘れてはいけないと声をあげ続けよう」と呼びかけました。

駆けつけた社民党の福島瑞穂党首、日本共産党の田村智子副委員長、立憲民主党の石川大我参院議員が訴え、「沖縄の風」の伊波洋一参院議員からのメッセージが紹介されました。田村氏は、安保3文書改定をはじめ、この国のあり方を閣議決定だけで決める政治は許されないと訴え。「多くの市民のみなさんと力をあわせ、憲法を守れという声を全国であげいきましょう」と呼びかけました。

市民のスピーチでは、「止めよう辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の野平晋作さんと、「女性による女性のための相談会実行委員会」の中島由美子がスピーチ。野平さんは、「10年前の1月27日、『オスプレイの配備撤回・普天間飛行場の閉鎖・撤去と県内移設断念』を求める建白書を安倍首相に提出したが、検討されることはなく、辺野古埋め立てが進められた。県知事選、住民投票で辺野古埋め立て反対の民意が示され続けているのに、沖縄県民の民意は無視避け続けている」と語り、「沖縄県民の民意を示すため、10年前と同じ1月27日に日比谷野音での集会、銀座デモを行うので参加して欲しい。辺野古新吉建設の断念を求める請願署名にも協力していただきたい」と訴えました。

埼玉から参加した男性は、国会にも諮らず閣議決定した敵基地攻撃能力保有と大軍拡を真っ先にバイデン大統領に報告し、『よくやった』と頭をなでられた岸田は許せない」と話しました。

**立憲・維新党首で「共闘」継続合意  
とんでもない!!立憲、改憲論議で譲歩**

立憲民主党の泉健太代表と日本維新の会の馬場伸幸代表は18日午前、国会内で会談し、23日召集の通常国会でも「共闘」することで正式に合意しました。防衛費増額に伴う政府の増税方針に対し、「安易な増税政策に反対する」ことなどを盛り込んだ文書に署名しました。立憲は維新のつなぎとめを優先し、維新が主張する憲法改正の論議を約束するなど大幅に譲歩しました。しかし、維新は自民党にも接近しており、共闘の先行きは不透明です。

会談では、政府提出法案への対応を検討する「協議体」を設置したうえで、①無駄な予算削減のための対策チームの設置、②身を切る改革を伴わない防衛増税への反対、③来年度予算案の内容を精査し、可能な範囲での論戦協力、④衆参両院の各委員会での密接な連携 の4項目を書面で確認しました。

さらに、憲法改正や安全保障、原子力発電などの勉強会を設け、意見交換を深めることでも一致しました。

会談後、泉氏は「野党が力を合わせて与党の政策の修正を促す役割を果たしていけると思う」と語りました。馬場氏は「共闘のレベルを臨時国会からワンランク上げた」と述べました。

維新に対しては、自民党も通常国会を前に距離を縮めようとしています。立憲は維新との共闘維持に躍起となり、改憲・安保など党内左派に拒否感が強いテーマの議論についても、維新から「おじられないなら連携できない」と突きつけられ、受け入れたようです。

改憲議論について、泉氏は「憲法改正を必要としないという結論になることもある」と語っていますが、党内左派には「維新は憲法審査会での議論に巻き込む狙いだ。具体的な改憲の話に入るならクギを刺さないといけない」と警戒感が広がっています。

しかし、1月に入って維新の支持率は下落しており、執行部内で「共闘への拒否感としか考えられない」との声が出ているとか。羽場代表は18日の党内会合で「立憲との協調はおかしいという声があることは認識している。結果を出すことが大事だ」と述べ、共闘を通じて維新の主張実現を目指す意向を示したようです。

## 「軍拡、改憲より暮らし、平和(仮称)」の運動を前進させるための

### 「学習・講演会」のブロック開催の成功を!! (総がかり行動実行委員会)

岸田政権は、12月16日に敵基地攻撃能力の保有や5年間で43兆円規模の軍事費支出、軍事費財源確保のための増税などを内容とする「安保関連3文書」の改定を閣議決定しました。この決定は、違憲の安保法制(戦争法)を実行段階に引き上げ、政府自ら位置付けるように「戦後のわが国の安全保障政策を実践面から大きく転換する」ものです。戦争準備の決定と言っても過言ではありません。このことは、他国を攻撃しないとしてきた専守防衛の制約をこえて、憲法にも国際法にも反する先制攻撃をする国へと日本を変質させ、米中対立が強まる国際情勢のもとでアメリカの戦争に巻き込まれる危険性を格段に高めます。また、国の予算と政策が軍事中心となり、暮らしや人権が圧迫される懸念が極めて強いものです。

戦争する国づくりに一貫して反対し、改憲を許さない一致点で共闘を積み上げてきた総がかり行動実行委員会として、前記閣議決定の撤回を求める「軍拡、改憲より暮らし、平和」の運動を全国で展開していくために、ブロック規模での学習・講演会を開催することとしましたので、取り組みの成功に向け、特段のご協力をいただきますようお願いいたします。

記

#### 1 学習・講演会の開催をお願いしている道府県

北海道、宮城県、新潟県、愛知県、大阪府、山口県、香川県、福岡県

\*近隣県からの参加についてもご検討をお願いします。

#### 2 現時点で学習・講演会が具体化されている府県

##### ①宮城県仙台市(東北ブロック)

**と き** 2023年1月25日(火) 18時～

**と ころ** ハーネル仙台 仙台市青葉区本町2-12-7

**講 師** 法律家6団体から

##### ②大阪府大阪市(近畿ブロック)

**と き** 2月12日(日) 13時30分開場、14時開会

**と ころ** 中之島中央公会堂

開催地の皆様、各ブロックの皆様、是非、ご参加ください。

**講師** 五野井郁夫さん（政治学者、高千穂大学経営学部教授）  
演題「安保関連三文書ー防衛費倍増」をどう考えるか

③新潟県新潟市（北信越ブロック）

**とき** 2月25日（土） 13時30分開場、16時開会      **ところ** 新潟県民会館

**講師** 柳澤協二さん（元内閣官房副長官）

※90分の講演の後、柳澤さんたち新潟国際情報大学の佐々木寛教授（市民連合@新潟共同代表）との対談予定

④山口県山口市

**とき** 2月26日（日） 14時～      **ところ** 山口市民会館大ホール

**講師** 志葉玲さん（ジャーナリスト、市民活動家）

## ご案内



**主催 憲法会議(憲法改悪阻止各界連絡会議)**  
**協賛 神奈川憲法会議/埼玉憲法会議/千葉県憲法会議/東京憲法会議**

**講演 纈纈 厚さん 山口大学名誉教授**

**「戦争への危機煽る「安保三文書」を徹底批判する～アジアと日本の平和を築く展望を何処に求めるのか～」**

2023年2月25日（土）午前10時00分～12時

**2023年春の憲法講座**

—大軍拡、大增税、憲法9条改悪阻止、憲法を生かした政治を!—

## 講座・講演 纈纈(こうけつ)厚 山口大学名誉教授

### 「安保三文書と日本の安全保障～アジアと日本の平和を築く展望を何処に求めるのか～」 講演要旨

日本の防衛政策の大転換となる安保三文書。その策定経緯からアメリカの軍事戦略と表裏一体のものであることが明らかとなっている。日米安保体制が日本防衛ではなく、アメリカの世界戦略に完全に組み込まれることを意味した三文書。果たして日本の安全保障は、これで担保されるのか。それは国家総動員体制の構築を目指した戦前日本国家への回帰ではないか。それが数多の惨禍を生んだ戦争国家日本と同じ轍を踏むものではないか。抑止力強化を口実とする軍拡の連鎖のなかで、本当に日本の平和と安全は担保されるのか。そうした疑問と課題に如何に応え、議論していくのか。そうした観点から問題提起し、そして、アジアと日本の平和を築く展望を語る。